

# J Aみちのく村山自己改革取組宣言

## これまでも、これからも、地域とともに J Aみちのく村山は総合事業を展開します

- ・ 農業者の所得増大 農業生産の拡大への挑戦 地域活性化に取り組みます。
- ・ 協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
- ・ 「総合農協だからこそ」の強みを活かし、食と農を基軸として地域に根差した協同組合として組合員・地域住民から信頼されるJAを目指します。地域にとってなくてはならない組織であり続けます。実感していただけるよう全力で取り組みます。

## 協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、 みんなの願いをかなえていく組織です

- \* J Aは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（J Aバンク）、共済事業（J A共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結び付け、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。
- \* 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けて安全・安心な農畜産物を安定的に供給し持続可能な農業の実践をしていきます。
- \* 農業以外の方でも、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。
- \* 信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、J Aの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や選果施設再編等への農業施設投資が可能です。
- \* いわば、農業者と地域農業の応援団で、J Aの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えています。

## 主な具体的な取組みは次のとおりです。

- ① 農業所得の増大と安全・安心な農畜産物の拡大  
選果施設の再編整備により生産者の出荷労力軽減と栽培面積の規模拡大に取り組みます。  
特に尾花沢すいかについては販売高30億円をめざします。農家手取り最大化に向けた取り組みとしては、「肥料の集約6銘柄」「農業の大型規格」への提案のほか、土づくりのための「天の恵キャンペーン」を実施し価格メリット3割程度の削減をめざします。
- ② 地域社会への貢献  
組合員の営農とくらしの課題に向き合い「地域の活性化」に取り組みます。  
広報誌「ふれあい」の定期発行、会員制による安価な葬儀対応、青年部による食農教育や女性部を中心とした福祉施設への定期的な清掃活動、またウォーキングや脳ドック検診による健康増進活動を実施して豊かで暮らしやすい地域社会の実現をめざします。
- ③ 第八次経営管理3か年計画の着実な実行  
「活気ある地域農業を協同の力で次世代へつなごう」をスローガンに組合員および利用者のメリットを最優先に取り組んでいきます。
- ④ 内部統制の整備・運用の充実  
内部統制の体制を充実するとともに適切な内部統制の構築・運用を行います。
- ⑤ J Aみちのく村山の将来ビジョンの作成  
農業改革・自己改革の「見える化」に取り組み次期3か年計画に反映させる具体的方策を検討していきます。

## 指導事業の主な取り組みは次の通りで計画しております。

- ① 地域の多様な担い手の育成と支援・強化のため、担い手への訪問活動等により経営意向やニーズを把握し、個々の経営課題に応じた栽培技術指導や補助事業の獲得・導入、規模拡大・経営合理化にかかる資金ニーズへの対応・経営サポートに取り組みます。
- ② 米穀・園芸、畜産と各関係機関と連携して地域農業の振興と「安全・安心」な農畜産物生産拡大を目指します。
- ③ 生産組織の充実に回り地域の作物振興、維持と広報誌による地域へのJ Aからの情報提供をおこないます。